

エックス線装置に関する構造設備概要

1 エックス線装置の製作者名、型式及び台数 2. エックス線高電圧発生装置の定格出力

台数	台						
製作者名							
型式							
製造年月日	年 月 日		年 月 日				
装置のタイプ	固定式（移動不可能なもの） 可搬式（移動可能なもの） ポータブル			固定式（移動不可能なもの） 可搬式（移動可能なもの） ポータブル			
高電圧発生装置の 定格出力	区分	管電圧	管電流	撮影時間	管電圧	管電流	撮影時間
	長時間	kv	mA	秒	kv	mA	秒
	短時間	kv	mA		kv	mA	
	蓄電式	kv	mA		kv	mA	
主な用途	撮影・透視・治療			撮影・透視・治療			
設置時の状態	新品・中古品			新品・中古品			
設置年月日	年 月 日			年 月 日			

3-1 エックス線装置の放射線障害防止に関する構造設備の概要

ア エックス線装置の共通事項

照射筒	有 ・ 無	有 ・ 無
絞 り	有 ・ 無	有 ・ 無
エックス線管の 容器及び照射筒 の漏れ放射線量	ミリグレイ/時間以下 マイクログレイ/時間以下	ミリグレイ/時間以下 マイクログレイ/時間以下
総 ろ 過 量	mmアルミニウム当量	mmアルミニウム当量

イ 透視用エックス線装置

透視用画像モニターの種類	蛍光板、テレビモニター、 その他（ ）	蛍光板、テレビモニター、 その他（ ）
透視時間積算・警告音 発生タイマー	有 ・ 無	有 ・ 無
利用線すい可動絞り装 置	有 ・ 無	有 ・ 無
蛍光板有効面積外照射 防止装置	有 ・ 無	有 ・ 無
受像器通過後の放射線 量	マイクログレイ /時間以下	マイクログレイ /時間以下
透視時の最大照射野通 過後の放射線量	マイクログレイ /時間以下	マイクログレイ /時間以下
被照射体周囲の散乱線 防護	有 ・ 無	有 ・ 無

ウ 撮影用エックス線装置

利用線すい可動絞装置	有 ・ 無	有 ・ 無
照射野の直径 (口内法撮影用 X 線装置の場合)	センチメートル	センチメートル
エックス線管焦点及び被照射体から作業従事者までの距離 (移動型及び携帯型 X 線装置並びに手術中使用する X 線装置)	メートル	メートル

エ 治療用エックス線装置

利用線すい可動絞装置	有 ・ 無	有 ・ 無
インターロック機能付き ろ過板保持装置	有 ・ 無	有 ・ 無

3-2 エックス線診療室の放射線障害防止に関する構造設備の概要

1 週間の延べ撮影回数		回			
1 週間の延べ透視時間		時間			
診療施設の概要	形態	独立家屋 (階建て)、マンション等の集合家屋 (階建て 階)、 その他 ()			
	構造	耐火構造 ()、木造、木造モルタル、プレハブ、 その他 ()			
エックス線診療室の概要	形態	エックス線診療専用の室、診療室と兼用の室、手術室と兼用の室、 その他 ()			
	操作室の有無	有 ・ 無			
診療室の遮へい物等の概要	区分	材 料	厚 さ	放射線防護に関する措置	
	天井				
	床				
	(壁を含む) 周囲の遮へい物等	東側			
		西側			
		南側			
		北側			
	出入口の扉				
	診療室の遮へい物の外側における最大放射線量	(ミリシーベルト/1 週間以下 マイクロシーベルト/時間以下)			
	標識の有無	有 ・ 無			
	注意事項の掲示	有 ・ 無			

3-3 エックス線診療室における放射線障害の防止に関する予防措置の概要

管理区域	管理区域の境界における最大放射線量	ミリシーベルト/3月 以下
	立入制限措置	遮へい物（材質等： ）による区画、 白線による区画、その他（ ）
	標識の有無	有 ・ 無
敷地内の居住区域及び敷地の境界	人が居住する区域における最大放射線量	マイクロシーベルト/3月 以下
	敷地の境界における最大放射線量	マイクロシーベルト/3月 以下
その他	エックス線診療施設の見取図	(別添)
	エックス線装置を使用する室の遮へい物等の配置状況	(別添)

3-4 その他の放射線障害の防止に関する予防措置の概要

防護用具の保有状況	防護手袋（ 双）、防護エプロン（ 人分）、 防護メガネ（ 個） その他（名称： 数量： ）
エックス線診療従事者等の放射線測定器の保有状況	フィルムバッジ（ 個）、ポケット線量計（ 個）、 蛍光ガラス線量計（ 個）、ルクセルバッジ（ 個） その他（名称： 数量： ）
エックス線診療室の放射線測定器の保有状況	有 ・ 無 (測定器名： 数量：)
線量測定方法	実測 ・ 計算
実測測定機器名	()
その他の措置（健康診断等）	

4 エックス線診療に従事する獣医師の氏名及びエックス線診療に関する経歴

氏名	年齢	エックス線診療に関する経歴（従事した場所・年数、研修受講状況等）

※注意事項

- 1 エックス線診療室の平面図（及び側面図）を添付すること。
また、平面図（及び側面図）には、遮へい物等の概要について記入すること。
- 2 電離放射線漏えいエックス線量測定報告書を添付すること。